

厚生労働科学研究費補助金【エイズ対策政策研究事業】  
HIV 検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究  
HIV 検査体制の改善に向けた戦略研究（今村顕史）報告書

北陸・南九州での郵送検査実施のための HIV 検査サイト構築と実証研究

- ◎研究協力者 生島 嗣（特定非営利活動法人ぶれいす東京）  
研究協力者 岩橋 恒太（特定非営利活動法人 akta）  
研究協力者 本間 隆之（山梨県立大学）  
研究協力者 南 留美（国立病院機構九州医療センター）  
研究協力者 渡邊 珠代（石川県立中央病院）  
研究協力者 彼谷 裕康（富山県立中央病院）  
研究協力者 森永 浩次（福井県立病院）

研究要旨

HIV の早期診断には、より丁寧でかつ効果的な検査手法を組み合わせた質の高い検査の拡大と、各地域の実情にあった検査体制の構築が求められる。

COVID-19 流行拡大に伴い、保健所での HIV 検査数が回復傾向にはあるものの、まだ、以前の状況には戻っておらず、新規報告数の減少が懸念されている。COVID-19 流行下の HIV 検査については、保健所検査の状況・実態把握、ハイリスク層の受検状況の把握を行い、90-90-90（95-95-95）達成に向けた新たな検査戦略が求められている。

そこで、HIV のハイリスク層である MSM を対象に非接触の郵送検査を、先行事例を参考に、実施にあたっては、検査実施方法の解説、検査申込み、HIV の情報提供、アンケート調査、相談・サポート等の必要な事柄に掲載した専用の Web サイトを構築した。そして、今年度も交通事情や保健所での検査実施状況、匿名性の確保が難しい北陸（富山・石川・福井）、南九州（大分県、宮崎県、鹿児島県）で実施した。また、検査サイトを通じて検査申込み前にアンケート調査を行った。申込期間 45 日余りで、北陸の申込数 186 件、返送数 136 件、陽性判定 4 件(2.94%)、南九州の申込数 151 件、返送数 102 件、陽性判定 1 件(0.98%)であった。申込数と返送数の差が各地域とも約 3 割あることも課題である。

本研究では、受検前後の不安や心配に対して支援団体による LINE 等による相談ができ、要確認検査となった場合は、確認検査や相談が受けられるよう、地域のエイズ治療拠点病院につながる体制をつくった。また、MSM 対象の HIV に特化したコミュニティセンターが存在しない地域において、本検査を周知するために、SNS や出会い系アプリのみではなく、広報フライヤーや検査キット配布等を、地元のゲイバーや LGBT 団体等・地域の出会い系掲示板の運営者などに協力してもらうことで検査の認知が広がったといえる。また、直接自宅ではなく、郵便局留め、店舗での受取ができるようにし、これは、郵送検査実施の広報活動の新たなルートづくりにつながるるとともに、ハイリスク層やコミュニティーから、検査の信頼性を得ることができたものとする。

今後は、今回の実証研究の分析・評価を行い、陽性判定者への確実なサポートなどの課題を検証し、COVID-19 対応のため、本研究に参加できなかった保健所との連携をはかっていく。

## A. 研究目的

HIV 感染症の早期治療によって、エイズ発症や長期合併症を防ぐことで患者の予後を改善することだけでなく、二次感染の予防にもつながることが示されたことで、これまで以上に早期診断が求められるようになってきた。しかし、我が国における診断の遅れは、今も深刻な状況が続いており、新規 HIV 感染者の約 3 割がエイズ発症をきっかけに診断されているのが現状である。このことから新たな検査戦略の構築が、我が国の HIV/AIDS 対策の喫緊の課題となっている。

早期診断には、より丁寧でかつ効果的な検査手法を組み合わせた質の高い検査の拡大と、各地域の実情にあった検査体制の構築が求められる。

COVID-19 流行拡大に伴い、COVID-19 対応のため保健所での検査件数が減少し、新規報告数の減少が懸念された。COVID-19 流行下の HIV 検査については、保健所検査の状況・実態把握、ハイリスク層の受検状況の把握を行い、90-90-90 (95-95-95) 達成に向けた新たな検査戦略が求められている。

そこで、HIV のハイリスク層である MSM 対象の非接触の郵送検査を、先行事例を参考に計画した。実施にあたっては、検査実施方法の解説、検査申込み、HIV の情報提供、アンケート調査、相談・サポート等の必要な事柄に対応した専用の Web サイトを構築した。

そして、交通事情や保健所での検査実施状況、匿名性の確保が難しい北陸 (202,2021 年度) 及び 2022 年度は南九州 (大分県、宮崎県、鹿児島県) を加えて実施し、検証を行うこととした。

## B. 研究方法

本研究では、MSM の HIV 予防啓発や陽性者支援を行っている支援団体と協働で郵送検査の実施・普及を目的とし、昨年度の検査時に構築した Web サイトを利用し、対象地域の MSM およびトランスジェンダーに対して郵送検査での HIV 検査を無料匿名で実施する。検査受検前後の相談支援については、支援団体に協力を求め、

陽性判定者に対しては、地域のエイズ治療拠点病院を紹介することとした。

<対象>

- (1) 18 歳以上の MSM 又はトランスジェンダー
- (2) 北陸 3 県、南九州 3 県に居住する者
- (3) 研究説明同意文書を読み、研究参加の意思を示した者

<実施方法>

(1) HIV 郵送検査に関する Web サイトの構築

○Web サイト掲載内容

- 1) 研究概要 (対象者、研究期間、研究組織)
  - 2) HIV 郵送検査の流れ  
検査キットの受け取りは、自宅、郵便局留め、地元のバーでも可能とした。  
解説動画も掲載
  - 3) HIV および HIV 検査に関する基礎知識  
研究代表者 (医師) による各 1 分 30 秒程度の分野別解説動画
    - ・ HIV とエイズは違うの？
    - ・ よくある症状は？
    - ・ 定期的な検査が大切
    - ・ 現在の HIV 薬は進化
    - ・ 早期治療は相手の感染させない
    - ・ 費用負担の助成制度がある
  - 4) 検査受検の適合性の確認  
セクシャリティー、年齢、居住地域の 3 点を確認する。
  - 5) 研究説明同意文書への同意  
適合性を確認した者に対して、画面上に同意説明文を掲示し、同意のチェックボックスにチェックを入れてもらう。
  - 6) 要確認検査となった場合の流れ
  - 7) 相談対応先  
支援団体の LINE 等の相談先を掲載
  - 8) 事前アンケート  
同意を得た者に対する検査キット申込み前のアンケート
- (2) ゲイコミュニティ等への郵送検査の広報
- (3) 検査申込み前の事前アンケート調査  
同意を得た者に対して、検査申し込み前に、

属性と HIV、HIV 検査・受検経験および郵送検査に関するアンケート調査を実施し、郵送検査事業者の専用 URL を案内した。

(4)検査キットの配布、検査実施、結果の通知  
郵送検査 Web サイトから、郵送検査事業者の郵送検査受検希望者用 Web サイトの専用のページにリンクさせ、希望者を誘導した。同サイトから検査を申し込んだ者に対して、事業者から検査キットが送付された。

キットの送付は郵便局留めにも、地元のパワーでの受け取りも可能とした。

受検者はキットに同梱された説明書や Web サイトの動画に従い、自らランセットを用いて指先から少量の血液を採り返送した。結果通知は、事業者の Web サイトの本研究受検者専用のページで行った。

結果が陰性であった場合は、その旨と不安などに対応する相談窓口の案内、フィードバック調査への協力依頼を表示した。

結果が陽性であった場合は、その旨と確認検査受検の案内、相談対応窓口の紹介、およびフィードバック調査への協力依頼を表示した。

#### (5)LINE 等での相談・サポート

受検者の不安や心配に対応するために、支援団体による LINE 等で相談できる相談先を Web サイト、配布フライヤーに提示した。

#### (6)陽性判定者へのサポート

陽性判定者に対しては、求めに応じて確認検査や相談が受けられるように、地域のエイズ治療拠点病院の協力を得ることとした

#### (7)調査分析・今後の課題の検討

また、事前に、各県のエイズ治療拠点病院の担当医に実施内容の説明と、陽性判定者への確認検査の実施を依頼した。それから、各県と中核市保健所に、実施についての事前連絡と実施後に報告を行うことを連絡した。

#### (倫理面への配慮)

本研究においては、外部審査機関において必要な倫理審査を行い、承認を受けている。

## C. 研究結果

### (1)HIV 郵送検査に関する Web サイト

○検査キット申込期間

2023 年 10 月 6 日～2023 年 11 月 19 日

○閲覧回数：104,951 回

ユーザー数：石川県 87、富山県 116

福井県 74

大分県 101、宮崎県 148

鹿児島県 191

google analytics(GA 4)を利用

### (2)ゲイコミュニティへの広報、協力体制の構築

出会い系アプリとともに、ゲイコミュニティを対象とした出会い系サイトに検査 Web サイトの紹介と郵送検査が無料匿名で受検できることのバナー広告を掲載した。さらに、協力が得られたゲイバーや LGBT 団体等で、フライヤーの設置や配布を行った。

店舗等での検査キット受取を了解したところが、石川県 11 軒、福井県 1 軒、大分県 3 軒、宮崎県 3 軒、鹿児島県 4 軒だった。

また、以下からの広報協力を得た。

Web : LGBT 向けネットニュースサイト

### (3)事前アンケート

同意を得た者に対して、検査申し込み前に、属性と HIV、HIV 検査・受検経験および郵送検査に関するアンケート調査を実施し、郵送検査事業者の専用 URL を案内した。

北陸：回答者：211（人）

○年齢： 20-29 歳 60 人 (28.4%)

30-39 歳 64 人 (30.3%)

40-49 歳 51 人 (24.2%)

50 歳以上 36 人 (17.1%)

○居住地：石川県 74 人 (35.1%)

富山県 88 人 (41.7%)

福井県 45人 (21.3%)  
その他 4人 (1.9%)

○セクシャリティー

ゲイ 163人 (77.3%)  
バイセクシャル 37人 (17.5%)  
その他 11人 (5.2%)

○HIV 検査受検経験

ある 152人 (73.8%)  
なし 54人 (26.2%)

○チェック 72 の情報入手先 (複数回答)

MSM 向け広告 177件 (80.5%)  
バー/口コミ 15件 (6.8%)  
バー/知人の SNS 17件 (7.7%)  
その他 11件 (5.0%)

南九州：回答者：172人

○年齢： 20-29歳 45人 (26.2%)  
30-39歳 56人 (32.6%)  
40-49歳 42人 (24.4%)  
50歳以上 29人 (16.9%)

○居住地：大分県 48人 (27.9%)  
宮崎県 49人 (28.5%)  
鹿児島県 64人 (37.2%)  
その他 11人 (6.4%)  
うち福岡県 6人

○セクシャリティー

ゲイ 117人 (68.0%)  
バイセクシャル 45人 (26.2%)  
その他 10人 (5.8%)

○HIV 検査受検経験

ある 104人 (61.5%)  
なし 65人 (38.5%)

○チェック 72 の情報入手先 (複数回答)

MSM 向け広告 173件 (93.5%)  
バー/口コミ 6件 (3.2%)  
バー/知人の SNS 3件 (1.6%)  
その他 3件 (1.6%)

(4)検査キットの配布、検査実施、結果の通知  
結果が陰性であった場合は、その旨と不安な

どに対応する相談窓口の案内を表示した。

北陸

○検査キット申込数 186件

石川県 63件 (33.9%)  
富山県 69件 (37.0%)  
福井県 35件 (18.8%)  
その他 19件 (10.2%)

(東京 3、新潟 5、大阪 4、その他 7)

○検査キット送付先 186件

自宅 172件 (92.5%)  
郵便局留め 9件 (4.8%)  
バー/団体経由 5件 (2.7%)

○検体返送数 136件 (73.1%)

○判定結果 陽性 4件 (2.9%)  
陰性 130件 (95.6%)  
判定不能 2件 (1.5%)  
(血液量不足)

南九州

○検査キット申込数 151件

大分県 43件 (28.5%)  
宮崎県 37件 (24.5%)  
鹿児島県 55件 (36.4%)  
その他 16件 (10.6%)

(福岡 3、大阪 2、神奈川 2、東京 2、その他 7)

○検査キット送付先 151件

自宅 132件 (87.4%)  
郵便局留め 19件 (12.6%)  
バー/団体経由 0件

○検体返送数 102件 (66.9%)

○判定結果 陽性 1件 (0.98%)  
陰性 101件 (99.0%)  
判定不能 0件

(5)陽性判定者へのサポート

陽性判定者に対して、求めに応じて確認検査  
や相談が受けられるように、地域のエイズ治療  
拠点病院の協力を得ることとした。

陽性判定者には、支援団体の相談先にアクセ

スしてもらい、医療機関を紹介する。そして、医療機関への紹介状は研究班代表者名とし、医療機関を紹介した場合は、研究班から医療機関へ本人から予約が入る旨の連絡を行うこととした。ただし、この流れは陽性判定者が、相談先にアクセスしてくることが必要となる。

今回、北陸での陽性判定者1人、南九州1人については支援団体等のLINE相談にアクセスがあり、医療機関につながったが、北陸3人については医療機関等への受診確認ができていない状況である。

#### ○相談状況

LINE相談 15回

メール相談 3回

内容：検査について（確認検査を含む）

検査の不安、結果が怖い

HIV/AIDSの治療や医療費等

#### D. 考察

HIVのハイリスク層であるMSMのHIV検査率、診断率を上げ、陽性者が治療につながることで新規HIV感染者の減少に結びつくことが期待できる。しかしCOVID-19流行下に各保健所のCOVID-19対応が長引き、現在、回復傾向にはあるが、流行前の状況に戻るには時間がかかると推察される。

本研究による検査キット申込数は、申込期間45日余りで北陸で186件、南九州151件であった。地域での検査広報の展開や、検査場所が少なく、交通アクセスの問題、知り合いに会う可能性等の対面検査の問題点が解消されたこと、COVID-19により人の活動が制限されたが、その影響を受けない検査手法だったことも考えられる。

北陸地区は県を超えてのネットワークが構築されている印象がある。一方、南九州は県ごとに啓発を考える必要がある印象であった。アクセスのきっかけとなる情報は、特に有償で出稿した広報の占める割合が異なっていた。また、口コミ情報

の占める割合に差があり、人とのコミュニケーションの話題としてHIV検査がやりとりされている地域の規範にも差がみられた。

今回は、2地域同時の啓発であったため、全国を対象に広告を掲載したが、対象外地域からのHIV検査キットの申し込みは約10%と比較的低く、地方都市を限定したHIV検査の啓発は、有効であった。

また、事前アンケート調査から、これまで未受検だった者の割合が、北陸で26.2%だったが、南九州で38.5%と、郵送検査が検査受検のハードルを下げていると考えられた。郵送検査は、いつでもどこでも受けられる簡便性があり、かつ非対面のため、匿名性が確保できる。

本研究では、受検前後の不安や心配に対して、支援団体によるLINE等による相談ができ、陽性判定となった場合は、確認検査や相談が受けられるよう、北陸、南九州の地域のエイズ治療拠点病院につなげる体制をつくった。今年度は5件の「要確認結果」を戻したが、相談支援に繋がったのは2件のみであった。結果通知から、通院までの支援に課題が見られた。今年度は特にLINE相談の資料をキットに添付し、結果通知画面にもバナーを貼るなど、相談支援を強化したが、限界があったが、今回は、北陸の陽性判定者1名、南九州の1人が医療機関につながった。

また、MSM対象のHIVに特化したコミュニティセンターが存在しない地域において、本検査を周知するために、SNSや出会い系アプリのみではなく、広報フライヤーや検査キット配布等を、地元のゲイバーやLGBT団体等・地域の出会い系掲示板の運営者などに協力してもらうことで検査の認知が広がったといえる。これは、郵送検査実施の広報活動の新たなルートづくりにつながるとともに、ハイリスク層やコミュニティから、本検査の信頼性を得ることができたものとする。

今後は、検査キット申込数と検体返送数の差（各地域の約3割が未返送）、陽性判定者が出た場合の確実なフォロー方法等について、十分に検証し、

より効果的な実施方法を検討していく必要がある。エントリー時に、LINE 登録、メールアドレスなどの収集など、何らかの一步進んだ対策が求められる。

そして、他の地域においても、この COVID-19 流行下のような社会環境の変化にも対応できる効果的な検査モデルの構築を進めていく。さらに、COVID-19 対応のため、本研究に参加できなかった保健所との連携も図っていく。

## E. 結論

HIV 感染のハイリスク層である MSM の HIV 検査受検をさらに進めるためには、既存の保健所検査やコミュニティセンターを利用した郵送検査などとともに、コミュニティセンターが不在の地域においても、ハイリスク層の利便性や十分にサポートできる体制を構築することが必要である。そして、郵送検査を含めた複数の検査手法の中から、各地域の特徴やマンパワーを考慮して、その地域に適した検査を選択できるように、受検勧奨モデルを構築していくことが重要であると考えられる。

## F. 健康危険情報

特になし

## G. 研究発表

### 1.学会発表

- 1) 今村顕史、生島嗣 岩橋恒太、本間隆之、渡邊珠代、彼谷裕康、鄭瑞雄、堅多敦子 郵送 HIV 検査実施のための web サイトの開発と北陸における実証研究 日本エイズ学会 2021 年, 東京

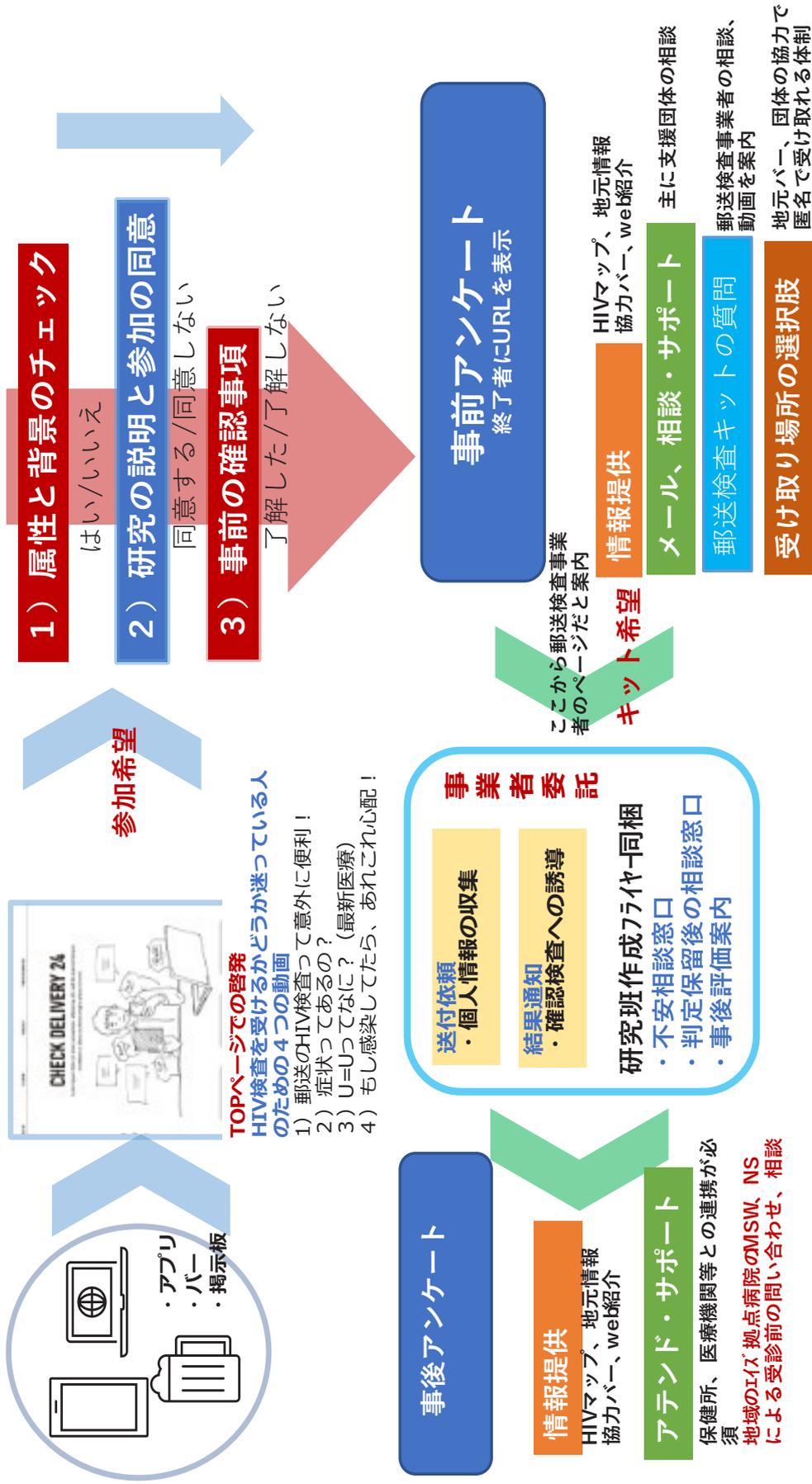
## H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

## (参考文献)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「MSM に対する有効な HIV 検査提供とハイリスク層への介入方法の開発に関する研究」平成 31 年度研究報告書：研究代表者 金子典代（名古屋市立大学）

# 郵送検査の流れ



北陸(富山・石川・福井) & 九州(大分・宮崎・鹿児島) 在住の方限定

# 郵送HIV検査キットが 無料・匿名でもらえる!!

受付：2023年10月6日～2023年11月5日

各地域先着：200名

アンケート & お申し込み後、郵送のHIV検査キットを72時間以内にご指定の場所にお送りします。ご自宅、郵便局留め、ゲイバー、協力団体などであんしんして受け取ることができます。



## あんしん受取方法

- ご自宅や郵便局留めでの受け取りが可能です。  
※郵便局留めは引き取り時にIDの提示が必要になります。
- 裏面に記載しているバーなどでも受け取りが可能です。



- 郵送する検査キットは、外から見て検査キットであることがわからない白い梱包になっています。

- ☑封筒の大きさ：角2変形(33×19センチ) / おおよそA4を短くした形  
封筒の表記：株式会社アル(コーポレーション) / 「上開封禁」表示あり / 「破損」表示無し

## ウェブで結果確認

- 採血した検査キットをポストに投函後、2～3日でウェブにて検査結果が確認ができるので、誰にも知られることはありません。

**check72** check72.jp

無料・匿名の郵送HIV検査申し込みサイト

厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策政策研究事業)

<sup>1</sup>HIV検査無料の徹底と革新的な受検勧奨のための研究、研究代表者：今村 麗史(東京都立駒込病院 感染症センター長)

協力(順不同) / 福岡コミュニティセンターHACO / 金沢にじのま / レインボービュー高崎 / ダイバーシティラウンジ富山 / レインボー堂沢 / レインボーハート富山 / 会沢レインボープライド / メンバーズCafe&Barジーエス / 3monsters / 藤サイ.com / 4bitoom / あんず会げっちゃん / newTOKYO

- 無料
- 匿名OK
- 送付先指定OK



HIVに関する不安なこと、  
相談したいこと、  
あなたに寄り添う窓口。

check72  
check72.jp

ご使用になる  
郵送検査キットについて

動画でわかる 採血の方法

[www.std-lab.jp/shopping/std\\_tv/guide.php](http://www.std-lab.jp/shopping/std_tv/guide.php)



HIV郵送検査キット (使用体験ムービー)

[www.youtube.com/watch?v=Ypf7viX3B2I&t=5s](https://www.youtube.com/watch?v=Ypf7viX3B2I&t=5s)



よくあるご質問・お問い合わせ先 (アルバコーポレーション)

[www.std-lab.jp/shopping/customer/](http://www.std-lab.jp/shopping/customer/)



## サポート・相談窓口

### LINEなんでも相談

HIVに関する相談はなんでもお受けします。また、確認検査を受ける際の相談や病院側との連絡のお手伝いをします。HIV陽性の可能性がある方は地域の治療拠点病院をご紹介します。病院により受け入れ状況が異なりますので、できるだけ事前にご相談ください。



アカウントをフォローするだけでもOK  
お役立ち情報などを取得することができます



- 健康に役立つ情報を配信!
- Q&Aを読むことができる!
- オリジナルLINEスタンプがもらえる

## お役立ちリンク集

HIV/エイズのコミュニティ  
NPO法人ふれいず東京  
ptokyo.org



すぐに役立つHIV情報サイト  
HIVマップ  
www.hiv-map.net



エイズ予防情報ネット  
api-net.jfap.or.jp



情報がほしい基本が知りたい  
HIVお役立ちナビ  
hiv-map.net/navi



厚生労働科学研究事業補助金 (エイズ対策政策研究事業)

「HIV検査体制の改善と効果的な受検勧奨のための研究」 研究代表者: 今村 顕史 (東京都立駒込病院 感染症センター長)